

福島ひまわり里親プロジェクト

ひまわり新聞 11



「ひまわりが咲くたびに “ふくしま”が輝いた！」

著 NPO法人チームふくしま

震災から6年。未来の子どもたちへ残したい
ひまわりが紡いだ全国と“ふくしま”の絆の復興物語。
同様の福島から尊敬の福島へ。

NPO法人チームふくしま
福島ひまわり里親プロジェクト

TEL.024-563-7472
HP: <http://www.sunflower-fukushima.com/>

メルマガ登録



“福島ひまわり里親プロジェクト”の物語が本になりました

“福島ひまわり里親プロジェクト”誕生の話、参加する福島県内、全国の学校、企業、団体の皆さまのひまわりを通じて生まれた感動物語や福島復興にかける思いなど、震災から6年間の物語が描かれています。

ひまわりが咲くたびに
“ふくしま”が輝いた!



NHK、全国ネットのテレビ番組、新聞各紙で話題!
福島を復興に導いた、全国20万人が参加する
“福島ひまわり里親プロジェクト”

「ひまわりが咲くたびに
“ふくしま”が輝いた！」

著 NPO法人チームふくしま
文 半田 真仁
発行 ごま書房新社
発売 2017年3月11日
仕様 A5版200ページ
価格 1,200円+税
初版 5,000部予定

全国書店、Amazonなど
ネットショップで絶賛販売中!

目次

- ◆巻頭カラー
“福島ひまわり里親プロジェクト”
福島と全国の交流 “ひまわり甲子園”
- ◆プロローグ
希望の種が生まれた日
震災直後から私の使命が生まれるまで
- ◆1章 福島発のひまわりが全国で咲いた!
ひまわりが紡いだ福島と全国のみんなとの絆
- ◆2章 感動と学びの「ひまわり甲子園」
全国からひまわり愛好家が集結!
- ◆3章 福島を輝かせる“志ある方”たち!
日本の未来を創る、才能ある仲間たち
- ◆4章 輝きを取り戻した福島の未来
人物のまち福島を目指して!
- あとがき
プロジェクト参加団体様(2016年度 一部)
“チームふくしま”(福島ひまわり里親プロジェクト)

チームふくしまサポーター募集

NPO法人チームふくしまの理念に賛同し、福島ひまわり里親プロジェクトの活動を支援してくださる賛助会員を募集しております。

10年後の日本を支える子どもたちの為に、日本の為に。
お力添え下さいますよう心からお願い申し上げます。

個人会員 1口3,000円

- “きずな”の種セット1袋・・・年1回お届け
- 年2回の会報(ひまわり新聞)
- 各種イベントのご優待
- サポーター会員証発行
- 会員専用SNS登録



団体会員 1口10,000円

- 個人会員の特典
- 福島ひまわり里親プロジェクトHPへの団体名の掲載
- ひまわり布袋プレゼント

▼会員登録申し込みは福島ひまわり里親プロジェクトまで
info@sunflower-fukushima.com

2017年度の予定	
3月	2017年分種販売開始(3/11より)
5月	福島県内に種配布・寄贈式を開催
8月	ひまわりウェディング種まき式
2018 3月	ひまわりウェディング2017開催予定
	ひまわり甲子園2018全国大会開催予定

ふくしま教育道徳資料集と種

福島避難いじめ防止、福島を理解していただくきっかけに

東京電力福島第一原発事故に伴い、福島から県外に避難した児童・生徒へのいじめが相次いで発覚した問題を受け、神奈川県教育委員会は全33市町村教育委員会へ福島県教育委員会が東日本大震災後に作成した道徳教材の活用を呼びかけました。(福島民報2017.1)

道徳教材「ふくしま教育道徳資料集III集」には、「尊敬と感謝」をテーマに、里親の福井県鯖江市立待小学校の皆さんが届けたひまわりの種と福島を応援する歌「ひまわり」を通して、福島の子どもの変化が物語に紹介されています。

「福島ひまわり里親プロジェクト」のひまわりで、子どもたちへ思いやりの心、生きる力を育む種まきを。
一人でも多くの子どもたちに豊かな心の根を。

そして、福島県の魅力を知り、
修学旅行へのきっかけにの種となれば幸いです。

ふくしま道徳教育資料集
「第三集 郷土愛 ふくしまの未来へ」
発行: 福島県教育委員会
▼福島県教育委員会のホームページ
にて無料でダウンロードできます。
<http://www.gimu.fks.ed.jp/>



ひまわり甲子園2016地方大会

今年は日本全国5地区で地方大会が開催されました。



関西地区大会 2016.08.11@京都府

発表団体: 宇治市立広野中学校(京都府) / 友保育園(京都府) / NPO法人未来への絆(三重県) / のぞみ鍼灸整骨院(京都府) / 松本市立阿坂小学校と松本市立松ヶ崎小学校(三重県)

主催: 関西地区担当 有限会社こじま



九州沖縄大会 2016.10.15@熊本県

発表団体: 有限会社グリーンピース磯浜(福岡県) / 筑紫女学園大学(福岡県) / 唐津市立浜玉中学校(佐賀県) / 福岡県立西田川高等学校(福岡県) / 熊本ひまわりプロジェクト(熊本県) / NPO法人子育て応援おきな木(熊本県) / 玉名女子高等学校(熊本県) / ガレキと一輪の花プロジェクト(熊本県)

主催: 熊本ひまわりプロジェクト 竹下 賢二

- 地方大会主催者の皆様**
- 関西地区 有限会社こじま 様
 - 九州・沖縄地区 熊本ひまわりプロジェクト 様
 - 信州・北陸地区 福島ひまわり里親プロジェクト長野 様
 - 中国・四国地区 ひまわり甲子園2016中国・四国実行委員会 様



ひまわり甲子園地方大会は、里親さんが主催者となって各地で開催していただいています。

地方大会の開催によって、全国と福島の繋がりのみならず地域同士の繋がりが生まれ、有事の際のネットワークが創られています。

地方大会主催者の皆さま、ありがとうございます。



信州北陸大会 2016.11.03@長野県

発表団体: 胸ヶ根市立中沢小学校(長野県) / 北部高等学校(長野県) / 東方美和子(長野県) / 牛山 大輔(長野県)

パネルディスカッション: 太田智明・牧野直樹・大島三穂子

主催: 福島ひまわり里親プロジェクト長野



関東地区大会 2016.11.13@東京都

発表団体: ガールスカウト千葉県第98団(千葉県) / 大島町立第三中学校(東京都) / 富士工業株式会社(神奈川県)

主催: 福島ひまわり里親プロジェクト



中国四国大会 2016.12.11@広島県

発表団体: 出雲市立大社中学校(島根県) / 福島ひまわり里親プロジェクトを応援する会(広島県) / 渋谷 美恵(広島県) / 赤磐商工会 熊山ひまわりプロジェクト(岡山県) / 晴れの国発!福島ひまわり里親プロジェクトin積水化学(岡山県)

主催: ひまわり甲子園2016中国・四国実行委員会

一粒のひまわりの種からはじまった、きずなの物語。

今年も全国各地で笑顔の花が満開。



ひまわり甲子園2017 全国大会

震災があったからこそ生まれた物語

オープニングアクト

午前の部

山木屋太鼓
 (福島県川俣町)



福島県、川俣町を拠点に活動している和太鼓団体。地域に根差す若者の育成と発展を目指し「美しい自然、そしてここが故郷」をテーマに曲を創作、演奏活動をしている。
 2016年11月、日本音楽著作権協会主催の「JASRAC音楽文化賞」を受賞。ひまわり甲子園には第1回から、毎回出場し福島に伝わる伝統の演奏を披露しています。



午後の部

AKB84(福島県田村市)



ひまわりの里、福島県田村市大越町のひまわりガール達。
 AKB84とは「明るく可愛いばっちゃん」と、WHO日本平均年齢の「84才」から、福島から全国へ感謝と元氣をお届けします。
 福島イチ元氣なひまわりガールが魅せる踊りと制服姿は必見です。

長野県北部高等学校

長野県上水内郡飯綱町にある公立高等学校。生徒会が中心となって、全校生徒が取り組んでいる。
 2016年8月に行われた文化祭では、文化祭に合わせてひまわり畑を作り来場者を楽しませた。そのひまわり畑では福島へメッセージを送る「ひまわりスマイルメッセージ」を行い、生徒たちからの思いやりのメッセージが集まった。



信州北陸地区代表



近畿地区代表

社会福祉法人長岡福祉会 友岡保育園

京都府の保育園。復興支援と屋上緑化の2つを目的に、園児たちが保育園屋上のフェンス沿いにひまわりを栽培。
 太田園長先生をはじめ保育士さんが園児にひまわりを育てる意味を伝え、風化対策や心を育む活動を行っている。
 2016年度の取り組みと園児たちにひまわりを通じて伝えている事・想いを発表する。

NPO法人 未来への絆

三重県松阪市で東日本大震災の復興支援活動を行っているNPO法人。
 震災後1年ほど、毎月バスをチャーターし中高生らと福島県や岩手県へボランティアに通った縁で、2012年からプロジェクトに参加。
 2016年夏には3メートル超えのひまわりを育て新聞に大きく取り上げられるなど、三重県から継続的な活動に取り組んでいる。



中部地区代表

福島市立岳陽中学校3年 松井新

福島県福島市にある「整体院 縁」を営む松井家の次男(中学3年)。
 震災後、家族で山形県米沢市へ自主避難し、知らない土地での生活をするに。
 不安な気持ちを抱えながら通い始めた新しい学校で、彼を救う「ある出来事」が起こる。
 避難先での生活を通して気づくことができた、震災があったからこそこのエピソードを発表する。



東北地区区子供代表



東北地区大人代表

大和田 愛真

NPO法人チームふくしま子ども代表理事 大和田紗希の母。
 福島第一原発事故により、原発から20km圏内の自宅がある福島県双葉郡富岡町を離れ、家族で避難を余儀なくされます。
 避難先となる茨城県での生活や、プロジェクト活動をする中で家族で大切にしていること、震災を通しての気づきなど、母親という目線から発表する。

熊本ひまわりプロジェクト

2016年4月に大地震に見舞われた熊本。熊本市在住の竹下賢二さんが、熊本の子どもたちの心の復興を目的に「熊本ひまわりプロジェクト」を発足。
 熊本の子どもたちに福島ひまわり里親プロジェクトのひまわりを栽培してもらい、元氣や希望を取り戻したいと復興活動を行っている。
 熊本市を中心に3千名以上の子どもたちが参加している。



九州沖縄地区代表

渋谷 美恵

広島県尾道市の里親さんであり、2011年からプロジェクトに参加し、「ひまわり甲子園2016中国・四国大会」実行委員長を務める渋谷晋太郎さんの愛妻。
 ひまわりを育てる中で起こったエピソード、2014年広島県海田市で渋谷夫妻が行ったひまわりウェディングでの感動エピソード、熊本地震発生後の取り組みについて、支え続ける妻からの視点で、発表する。



中国四国地区代表

富士工業株式会社

神奈川県相模原市にあるレンジフードの開発、生産、販売を行う最大手企業。東日本大震災にて福島県白河市にある工場が被災。
 「被災した自分たちにできることはないか」と模索中にプロジェクトのを知り、2014年より活動をはじめ。
 白河工場と本社工場との絆も深まり、復興支援活動のひまわりのみならず、新入社員教育の一環として、人材育成に活用した事例を発表する。



関東地区代表

ご来賓紹介

福島県 総務部	風評・風化対策監	野地 誠	様
福島市 都市政策部	公園緑地課 課長	佐藤正四	様
福島県教育委員会	社会教育課 主事	平久井淳	様
聖光学院高等学校	野球部監督	斎藤智也	様
福島県立大笹生養護学校	校長	片寄 一	様

福島民報社	企画推進部長	渡辺一志	様
国立大学法人福島大学	政策学類 教授	鈴木典夫	様
JICA二本松	副調査役	松田洋平	様
福島交通株式会社	鉄道部部长	三浦賢一	様
有限会社加賀屋感動ストアマネージメント	代表取締役	加賀屋克美	様
イオン株式会社	グループ環境・社会貢献部長	金丸治子	様
イオン株式会社	心をつなぐプロジェクト	佐藤昭彦	様

司会



山田 美紗子
 (ラジオ福島アナウンサー)

大和田 紗希
 (チームふくしま子ども代表理事)

2017年2月19日、福島県福島市の福島テルサFTホールで、第5回目となるひまわり甲子園全国大会を開催。全国で行われた地方大会の代表団体6団体、福島県内の代表2団体が代表として登壇する。





2016年10月16日(日)熊本県益城町にある「益城復興市場・屋台村」にて今村復興大臣とお会いしました。復興大臣より、直接お言葉をいただきました。

今村復興大臣より応援メッセージ 「福島、熊本の復興を一緒に頑張りよう！」

この事業に参加して、げんばくのおそろしさや、ひばく者の苦しさがわかって、その悲しさや苦しさを忘れずに、たくさんの方にこのげんばくのことを伝えていきたいと思います。

福島市立三河台小学校5年
松井 里花

子どもがふみだす Fukushima復興体験応援事業

事業名
震災があったから「こそ」生まれた物語を全国へ発信！ひまわり甲子園2017

事業内容
「福島ひまわり里親プロジェクト」に関連して京都、熊本で開催するイベント「ひまわり甲子園」と、広島県で開催された平和交流会の中で、福島の子供たちが「福島の現状」や「震災から気づいたこと」の発表と、全国の子供たちとの交流を行った。

実施団体名 特定非営利活動法人チームふくしま

子どもがふみだす Fukushima復興体験応援事業

in 熊本
今村復興大臣より

実施団体名 特定非営利活動法人チームふくしま

参加学生・児童の感想

福島県立西高等学校2年 松井 歩未

この3日間で、たくさんの方の貴重な経験をさせていただき、前の自分よりも大人になった自分に出会うことができました。思いもよらず、普段感じないことや考えないこともこの機会にしっかりと考えることが出来ました。

これからは、たくさんの方を知り、学び、いろいろな方に伝えていきたいと思います。

(8月4日〜6日広島訪問)

福島市立岳陽中学校3年 松井 新

今回この事業に参加して、全国の人々のつながりや結びつきの強さを感じました。今回の大会に参加した人たちは、ただより多くの人々が幸せになれることを願って、日々活動していて、その気持ちを持っている人々がつながり、その大会に参加していることを思うと、とても感動し、うれしく思いました。

そして、今後とも一層頑張ろうと思いをしました。

(8月1日〜5日甲子園関西地区大会参加／10月15日〜16日熊本復興訪問、ひまわり甲子園九州沖縄大会参加)

いわき市立湯本第一小学校6年 大和田 紗希

たくさんの方の人たちと仲良くできてよかったです。私の話を聞いて喜んでくれた人がいたのでうれしかったです。

(8月4日広島訪問／8月1日〜5日甲子園関西地区大会参加)

いわき市立湯本第一小学校3年 大和田 みず穂

いっぱい友だちができました。

(8月1日〜5日甲子園関西地区大会参加)

子どもがふみだす Fukushima復興体験応援事業

福島県教育委員会主催

新生ふくしまを担うたくましい子どもたちの育成のため、県内の子どもたちが、ふくしまの復興のために「考え」「判断し」「行動する」社会体験・社会貢献活動。



広島土砂災害で亡くなられた方の慰霊碑と災害以前の街並みが描かれたモザイクアートの前で合掌。また、広島土砂災害資料館の「復興交流館モンドラゴン」や災害を忘れないよう学校に建てられた「忘れまい 広島土砂災害 8.20」の文字が刻まれた石碑を見学しました。

8月4日

「高校生災害復興支援ボランティア派遣隊」、「東北支援やっべす☆広島」、「チーム大川」と共に被爆体験講話を聴かせて頂き、広島のお好み焼き、福島産品で交流を深めました。

会場の県営緑ヶ丘住宅集会所では、土砂災害のあった8月20日に満開になるように、亡くなられた方の人数と同じ77本のひまわりを育てています。



8月6日、広島市原爆死没者慰霊式、平和祈念式に参加しました。松井歩未さん、里花さん姉妹が平和への折り、原爆死没者の方への慰霊の気持ちを含めて、ひまわりを献花。

「原爆の子の像」の鐘を鳴らして、平和のシンボルである折り鶴を献納しました。

8月6日

広島市立職町中学校で全国生徒が出席する平和交流会に「盛岡市広島平和友好派遣団」「沖縄市平和大使」と共に参加し、子ども代表理事の大和田紗希が挨拶をしました。

校内の「原爆の子の像」の原型像、「被爆工ノキ」、「折り鶴の碑」を案内していただきました。

8月5日



8月11日
ひまわり甲子園2016
関西地区大会

10月15日
ひまわり甲子園2016
九州沖縄大会

平成28年8月より、福島県教育委員会主催「子どもがふみだすふくしま復興体験応援事業」の一環として、福島県の子ども3名と福島ひまわり里親プロジェクト事務局スタッフが、広島県・京都府・熊本県を訪れました。

71年前、世界で初めて原子爆弾が投下された広島。2年前には大きな土砂災害に見舞われました。地域の子ども達との交流、被爆体験やガイドの方の講話、平和交流会の参加などを通して、改めて平和について考える機会となりました。

ひまわりツアー in 広島・京都・熊本

7 子どもがふみだす Fukushima復興体験応援事業報告ポスター 子どもたちが作成しました

2016年度も全国各地の里親のみなさんから
 たくさんの応援メッセージをいただきました。心から感謝申し上げます。



北海道・東京都・大阪府
 キーウェアソリューションズ株式会社様

毎年続けて、6回目のひまわりです。
 今年も頑張ります！ 愛知県 新淵 翼様



会社で取り組みを知り、今年から参加させていただきます。種が採れるまで大切に家族で育てます。 東京都 こまワン様



岩田団地新聞
 愛知県 サロン泉会 会長 村田様



東京都 伊豆大島の第三中学校生徒会様
 『さあ、今年も「福島ひまわり里親プロジェクト2016」がんばるぞー!!』と生徒総会でも本部役員がしっかりアピール。そして5月19日、種まきをしました。これからしばらく晴天続きなので、毎朝・毎夕水やりをします。『開け、大輪!つなげ、福島と!』



NTT東日本 神奈川事業部 様

2016年4月15日(金)NTT東日本神奈川事業部の社員600名が育てたひまわりの種を届けるため福島を訪問。

福祉作業所「NPO法人和」で「ひまわりの種贈呈式」を開催し、和の利用者様へ贈呈していただきました。

⑥2016年Xmas装飾でひまわりの種を包み福島へお送りいただきました。



NTT東日本神奈川グループ



**勝山秘湯の会 様
 (こだまツーリスト元町営業所)**

2016年10月12日(水)、福井県より訪問。勝山秘湯の会のメンバーである島田様は、「ひまわり甲子園2016全国大会」に参加し感動したことがきっかけで「ひまわりを育て、種を福島に届けよう」と娯楽(旅行)と復興(プロジェクト)を組み合わせたい新しい企画が実現。

旅行者が夏に咲かせ採れた種を回収し、福島へ届けていただきました。

**全国から福島へ
 ~種贈呈式開催~**

全国の里親様が福島に絆の種を届けるにお越しくださいました



**イオンタウン株式会社 様
 マックスバリュ中部株式会社 様**

2016年12月18日(日)千葉県、三重県より訪問。2015年に続き、2回目となる「福島ひまわり里親プロジェクトひまわりの種贈呈式」を福島県須賀川市のイオンタウン須賀川店で開催しました。

福島からの御礼を込めて、福島県川俣町山木屋地区の伝統和太鼓「山木屋太鼓」の遠藤元気さんが感謝の演奏をお届けしました。



ひまわり甲子園2017全国大会 祝電披露

みなさん、こんにちは、安倍昭恵です。

本日、2017年第5回ひまわり甲子園全国大会が盛大に開催されますこと、心よりお慶び申し上げます。

このひまわり全国大会は、東日本大震災で甚大な被害を受けた福島において、雇用対策及び観光対策などの復興支援の一助となることを目的として始まった「福島ひまわり里親プロジェクト」参加者の皆さんが、被災者側又は支援者側の立場から経験し、感じたことなどを発表される場であると伺いました。

つらい思いをしつつも、懸命に苦難から乗り越えようと努力されている被災者の皆様、自らできることを懸命に実施された支援者の皆様に、心から敬意を表します。

このひまわり甲子園全国大会において提案された防災や街づくりなどが、今後全国の自治体やコミュニティ等において活用されることによって、災害に強い人づくりや街づくりがされることを期待しています。

最後になりますが、本日お集まりの皆様、本プロジェクトを応援して下さいの
皆様のご健勝・ご多幸を心より祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

内閣総理大臣 夫人 安倍 昭恵



みなさん、こんにちは、タレントのベッキーです。

今回、2017年ひまわり甲子園 全国大会開催おめでとうございます。

また、ひまわり甲子園にご招待頂きまして、本当にありがとうございます。

私と福島ひまわり里親プロジェクトさんとの出会いは、2014年フジテレビのイベント「お台場新大陸」でした。「ひまわり笑顔のサイクルプロジェクト」という、お台場新大陸を3,000本のひまわりでいっぱいにして、福島から購入したひまわりを種から花を咲かせ、後に採取した種を再び福島に戻して花を咲かせたり、エコバイオ燃料として再利用するという企画でした。

私も、福島ひまわり里親プロジェクトに種をお送りするために、種採りに参加させて頂きました。あの時採ったひまわりの種が福島に届いている事や、たくさんの方のあったかい思いが繋がって広まっていく事を考えただけで、心があたたかくなります。

東京お台場で出会った「福島ひまわり里親プロジェクト」、今度は福島で咲くひまわりに会いに行きたいなと思います。私も、人生のなかで、太陽に向かって咲くひまわりの花に、勇気と元気をもらい、元気に咲いていきたいと思います。

福島ひまわり里親プロジェクトに関わる皆様に、笑顔の花が咲き続けることをお祈りしています。

ベッキー

